

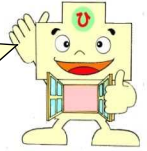
自立

笑顔・感謝・愛を
基盤として

令和4年7月8日(金)
校長だよりNO. 124

熊本研修(先進校視察)

「復伝その3」です。



御船中学校の取組 その1

「子どもは『歩く学校評価』」という言葉がありますが、いくら素晴らしい理念を掲げても、実際にそこに通う子どもたちの姿がその理念からかけ離れていては「絵に描いた餅」です。御船中学校を訪問し、学校の理念と生徒の姿が重なっていることを強く感じました。

御船中 校訓

自律

創造

友愛

(自ら鍛える生徒) (自ら学ぶ生徒) (自ら生きる生徒)

行動目標

凡事徹底

利他の心

学校の理念を実現するために、挨拶や整理整頓、掃除など、当たり前のこと、簡単なことをしっかりやり続けること(凡事徹底)、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周りの人のことを考え、1日10回以上の「ありがとう」を伝えること(利他の心)を全校体制で取り組んでいました。「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる(稲森和夫氏)」の言葉が各教室に掲示されていましたが、その言葉が全校生徒に浸透していると感じました。そして、そのことの基盤になっていると思われるものが、次の「生徒指導の基本姿勢11箇条」です。

御船中学校 生徒指導の基本姿勢11箇条

- 1 観察を怠るな。変化に素早く気付け。
- 2 見逃すな、避けるな、毅然として過ちを指摘せよ。
(凡事徹底)
- 3 時間をおくな。後にまわすな。
- 4 事実を確認せよ。
憶測や決めつけで判断したり行動したりするな。
- 5 人に任せておくな。
しかし、自己満足や独善で終わらせずに、協力を求めよ。
- 6 暴力は絶対に行使するな。
- 7 1対1で話し合え。言い分を聞け。長所を見よ。
- 8 安易に約束するな。独断で特例をつくるな。
あいまいな妥協はするな。
- 9 その陰にあるものを見つめよ。裏側にあるものを見よ。
- 10 誠意を尽くせ。ICTでは心は通じない。
保護者と面談して連携せよ。
- 11 小さな努力や思いやりを大きく褒めよ。
生徒の良い面を外に発信せよ。

「優しさ(優しいの反対は冷たい)」と「厳しさ(厳しいの反対は甘い)」の両面を兼ね備えた指導があるからこそ、「望ましい生徒の姿」があるのだと改めて思いました。

御船中学校の「授業づくり(SMARTで授業改善)」については、次号で紹介します。

